

## 「インフラ出前授業」開催!



【青森県による講義「インフラってなに?」】

令和5年10月30日(月)、黒石市立中郷中学校3年生を対象に「インフラ出前授業」が開催され、青森県・青森河川国道事務所・青森高等技術専門学校の体験ブースに中学生約50名が参加し、体験学習していただきました。青森河川国道事務所では「建設分野のデジタル技術を体験してみよう」と題して、建設工事のVR(仮想現実)とMR(複合現実)を3つ体験してもらいました。



【青森河川国道ブースでの事前説明】



【生徒たちによるVR、MR体験の様子】

VR(仮想現実)とMR(複合現実)を活用し、ゴーグルをかけてドローンによる空撮動画や橋梁架設状況を見たり、現実の景色に橋梁を重ねてみたりと、普段の生活では体験できないようなことを楽しく熱心に学んでもらいました。

国土交通省 東北地方整備局では、建設業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の取組を進めており、その一環として新たな担い手育成・確保のため、学生向けの「i-Construction新技術体験学習」などを実施しています。